

# 三和中学校通信

第8号 H20.10.25

広島市立三和中学校  
TEL928-5808 FAX928-4458

平成20年10月

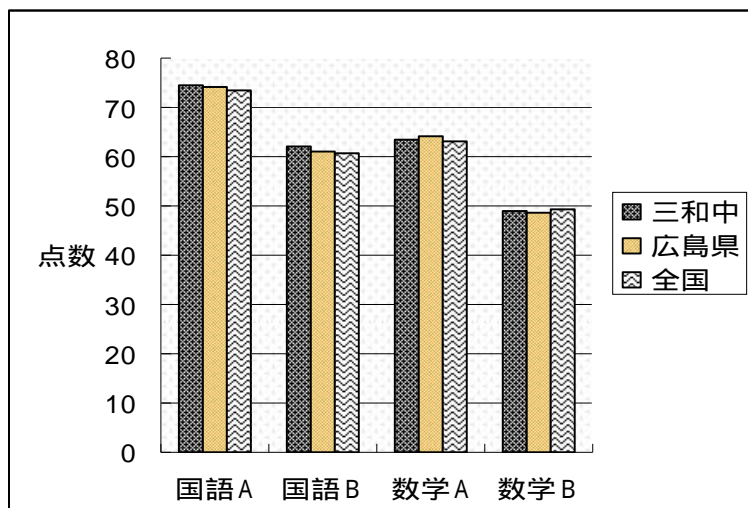
<http://www.sanwa-j.edu.city.hiroshima.jp/>

## 平成20年度全国学力調査の結果

4月に全国の小学校6年生と中学校3年生対象に全国学寮調査が実施され、今年度の結果が先日公表されました。

この学力調査は国語・数学の2教科で実施され、それぞれA問題とB問題の2つに分かれています。A問題は基礎的な「知識」を問う内容で、問題ごとに「できるか、できないか」、「わかっているか、わかっていないか」がはっきりと分かる問題になっています。B問題は、いくつかの単元にまたがった総合的な問題が多く、学んだ知識を「活用」する力がついているかどうかを見ようとする問題が中心になっています。どちらの教科もAの知識を問う問題に比べBの活用する力を問う問題の正答率が低い結果となりました。

これらの結果から、B問題のように「思考力や判断力、表現力といった知識を活用するために必要な力」をどのように育成するかが課題となると思われます。



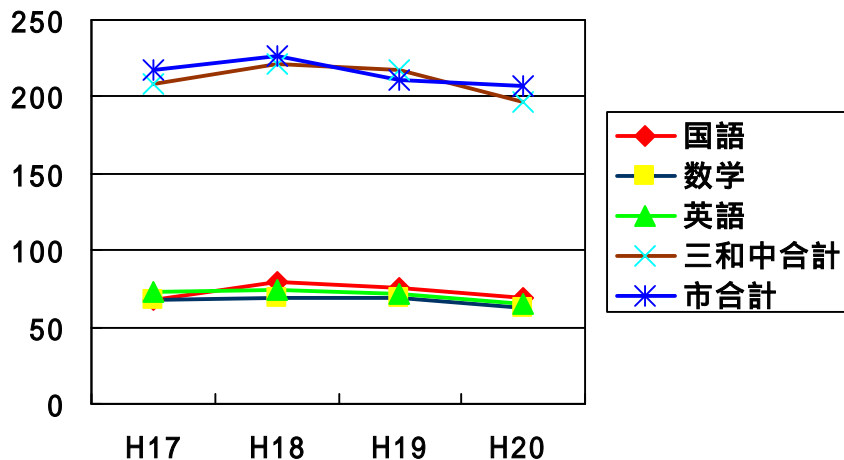
	国語A	国語B	数学A	数学B
三和中	74.6	61.9	63.4	48.9
広島県	74.1	60.9	64.1	48.7
全国	73.6	60.8	63.1	49.2

さて、本校3年生の結果は全国の平均を国語A、国語B、数学Aで上まわりました。残念ながら数学Bは全国平均を下回りましたが、広島県の結果をわずかに上まわりました。3年生はこれから進路に向けての学習が本格的になります。一人ひとりが希望する進路を実現することができるよう努力をしたいと思います。3年生のみなさんも日々の学習に真剣に取り組んでいきましょう。

## 平成20年度 基礎・基本定着状況調査の結果

基礎・基本定着状況調査とは、県内の小学校5年生と中学校2年生対象に毎年5月に、次のような趣旨で実施されている調査です。

- (1) 「読み・書き・計算」などの基礎的な内容とともに、思考力・判断力・表現力などの定着状況を把握する。
- (2) 生徒の生活や学習に関する意識や実態及び学校における教科指導等の実態を把握する。
- (3) 自校の課題を明確にし、指導内容や指導方法の改善・充実を図る。
- (4) 生徒の学習の到達度を明らかにし、県の教育行政施策に生かす。



平成20年度の結果

	国語	数学	英語	合計
三和中	68.9	62.7	64.7	196.3
広島市	74.1	64.4	68.9	207.4

上のグラフは、平成17年から今年度までの平均通過率を示したものです。今年度は、残念ながら三和中の平均点は広島市・広島県の平均点を下回りました。

### 国語について

「読むこと」の領域は市平均を上まわっていますが、「聞くこと」の領域や漢字の読み書きは低い通過率になっています。

### 数学について

基本的な計算問題、図形に関する領域の通過率は高くなっていますが、方程式や記述問題については低い通過率になっています。

### 英語について

「聞くこと」「話すこと」の領域に通過率の高い項目が多く、「書くこと」「読むこと」の領域の通過率がやや低くなっています。

三和中の今回の結果は3教科とも広島市の平均通過率を下回りましたが、この結果を受け止め、これからも学力の定着・向上に努めていきたいと考えています。